

29. 8. 22

福島第一原子力規制事務所

### 陸側遮水壁の閉合作業（第三段階）現場確認について

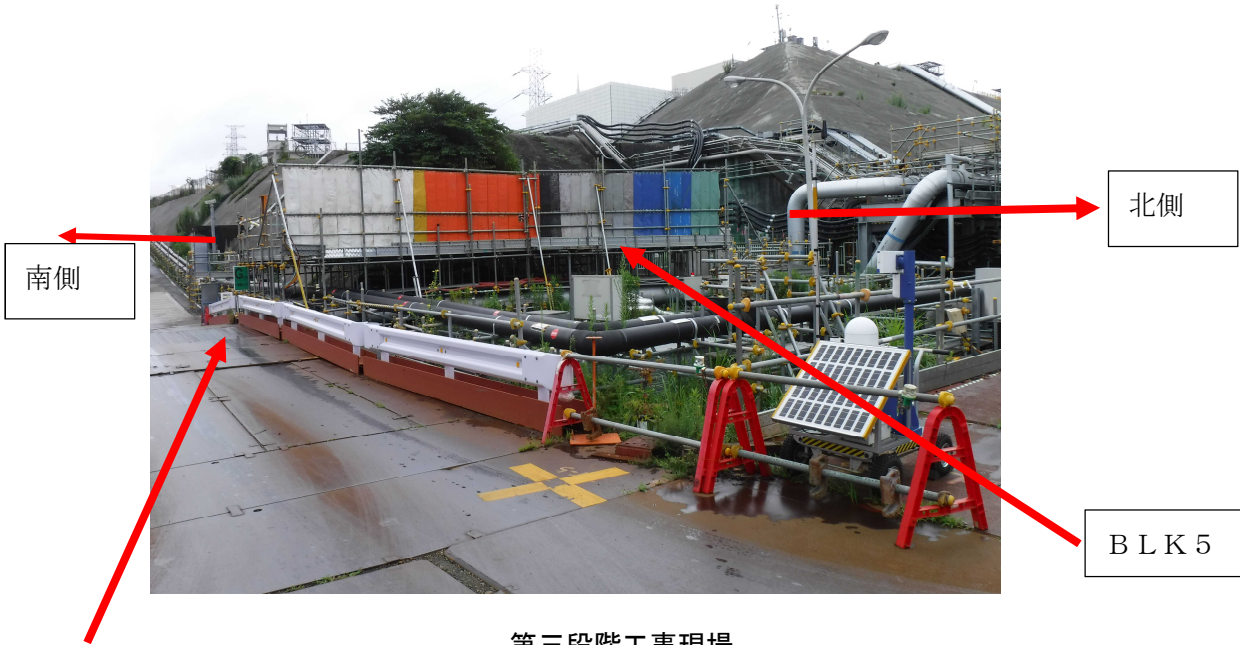
本日（22日）実施された、陸側遮水壁の未凍結箇所の最後の閉合作業（第三段階）について、現場立会を実施したので報告します。

- 1 作業日時：29年8月22日（火）09：00～09：29
- 2 場所：2号機西側10m盤（6BLK4本、5BLK7本の凍結管）
- 3 検査官：宮本、橋野原子力運転検査官
- 4 作業内容：今まで閉の状態であった、次の11本の凍結管のバルブ開作業を実施  
1900-6T（1本）、10-5T～100-5T（10本）  
○ 作業は、ブラインヘッダー管（送り側）についているストップ弁（No1）を開ける前に、ブラインヘッダー管（戻り側）側からのストップ弁No4、No3、No2が開いていることを本日7時からチェックしたことを現場作業員から聴取した。  
9時からBLK5の100-5Tストップ弁（No1）を開とする作業を開始、9時29分にすべてのストップ弁を開としてすべての作業を終了、  
各ストップ弁を開とし、現場と凍結プラント（冷媒製造工場）間で、流量、水圧等の観点から情報交換していることを確認  
予定どおり、9時29分に作業終了、異常なし。
- 5 今後の事務所予定  
本日の第三段階作業の終了に伴い、温度変化と水位変化については、今後（3週間後以降ぐらい）毎日事業者担当者に報告させ、事務所内で情報共有を図る予定

参考

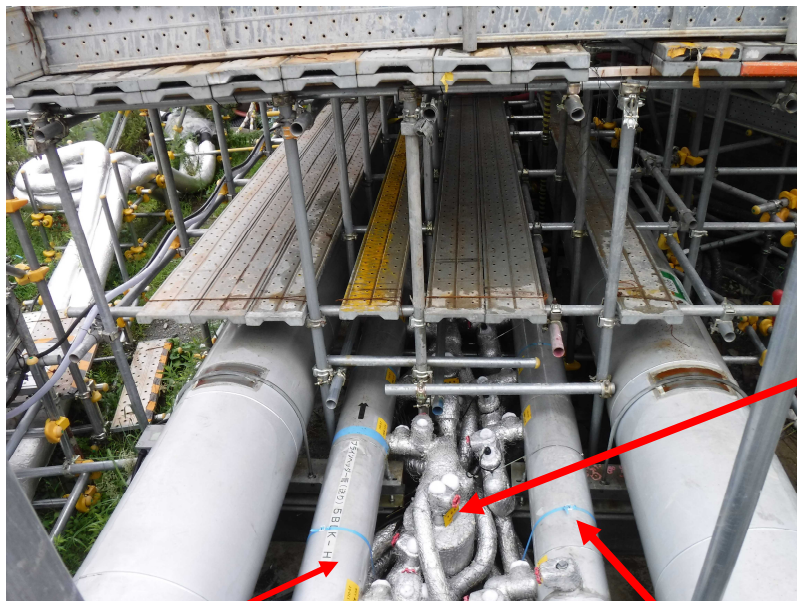
現場写真参照

陸側遮水壁作業の現場状況



第三段階工事現場

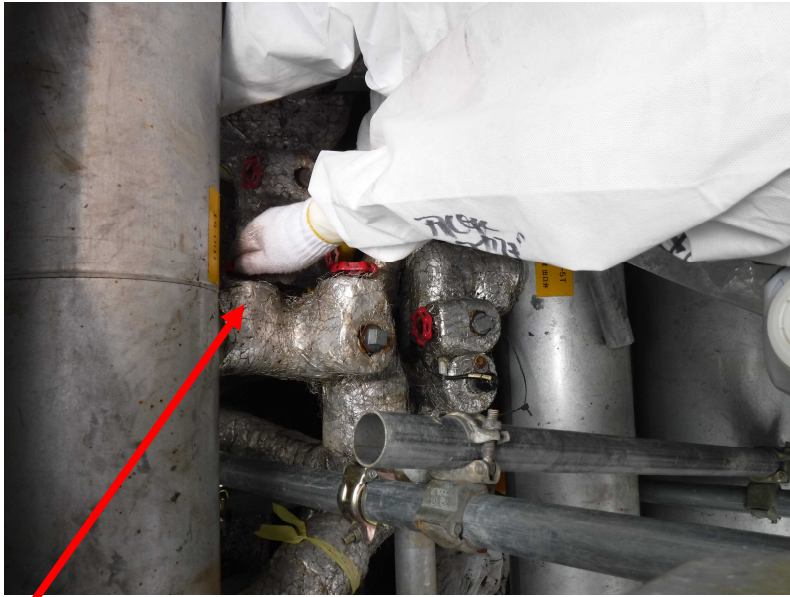
BLK 6側



ブラインヘッダー  
(送り)

ブラインヘッダー  
(戻り)

凍結管



BLK5 100-5T ストップ弁の開

ストップ弁1